

富里市犯罪のないまちづくり推進協議会(第2回)会議録

日 時	平成29年3月24日（金） 10：30～12：00
場 所	富里市役所3階第3会議室
出 席 者 (委 員)	沖田健二委員，川嶋美津江委員，高澤忠彦委員，中山信司委員， 市村嘉佑委員，小幡健二郎委員，高木利子委員，河野昌子委員， 柳橋啓子委員
欠 席 者	津村信夫委員，林田純江委員，伊藤宣一委員，松井秀明委員， 長徳實義委員
傍 聴 人 数	2 名
事 務 局	粕谷市民活動推進課長，小泉副主幹，松戸

〔会議次第〕

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 富里市内の犯罪発生状況等について
- 4 議題
 - (1) 平成28年度における防犯事業の実績について
 - (2) 今後の防犯活動や取り組みについて
- 5 その他
- 6 閉会

〔会議概要〕

議長	次第4 議題 (1) 平成28年度における防犯事業の実績について 事務局の説明を求めます。
事務局	資料1をもとに今年度の市の防犯事業の実績について説明。 (議長が意見を求める)
A委員	現在富里市が保有し貸出している青パト車の台数とどのような車 かを皆さんにご紹介いただきたいと思います。

事務局	現在市では、三菱アイ，スズキワゴンR，庁車で22号車というバンの形をしている青パト車を保有し貸出しを行っております。
A 委員	貸出しの要望に対して、現段階で要望が満たされないといったような状況は発生しておりますか。
事務局	年度初めに各団体から青パト車使用の計画を提出していただいておりますが、使用したい時間が他団体と重なった場合は、調整させていただいてますが、今のところそこまできつきつであったりすることはありませんので、まだ3台でも余裕があるのかなと思います。
B 委員	ただ22号車は車体が長いので、小回りが利かず乗りづらいです。青パト車を増やすのは難しいかもしれませんが、将来的に軽タイプの青パト車を増やしていただければと思います。
事務局	軽自動車の青パト車1台を夢まるふぁんどにより寄贈していただいた経緯がありまして、毎年そちらには必ず要望を挙げさせていただいておりますが、なかなか通らないといった状況が続いております。予算の問題もありますので、この場でいつ増車できるかとお答えすることはできませんが、既存の青パト車も走行距離において長く走ってきておりますので、十分検討させていただきたいと考えます。
議長	ありがとうございます。他にご意見ございますか。
C 委員	日吉台で防犯パトロールしてくださっている方たちを見ると、皆さん年代が非常に高くなってきているんですね。ですので、年代を下げ若い人にも関心を持ってもらえるように、市の方で啓蒙してもらえないでしょうか。
B 委員	防犯指導員は二年に一回任期が満了するという形になっているのですが、なかなか若い人は仕事を持たれているため、実際活動をす

	るのは難しいのかもしれませんが。しかし、たまにそういう若い方が入ってくれると非常に嬉しく感じます。区長にて推薦していただく際に、そういう事も考慮して推薦いただければなと思います。
議長	確かに日吉台支部では高齢の方が多いいけれども、更に高齢率が高いのが、両国支部です。市から区長へ推薦を挙げてくださいと依頼が来ますけれども、消防団員と同じでやり手がいないんです。それと先程もありましたが、仕事をされている場合ですと、なかなか防犯活動はできないのです。たいてい14時ごろから17時ごろの間と夜に行うという方法があるんですけれども、その辺の兼ね合いが難しいというのが現状ですよ。
C委員	ハードルも高いといったことも見受けられるんです。なので、やる人に任せておけばいいというようなところもあるので、こういう人でもできますよみたいな、例えば昼間はできなくとも夜はできるとか、そのような分け方でこの部分だったらいかがですかといったようにしないと、若い人はやはり仕事があるから全ては難しいだろうけども、富里のこの辺ではシフトで動いている方も多いので、月何回くらいでもできますかという風にハードルを下げてかつ関心をもってもらえるような方法がいいのではないかなと思います。
議長	市の方で条例ができ、南小学校区防犯パトロール隊が市の青色回転灯装着車両に乗りながらパトロールできるようになったように、皆さんと問題ごとについて色々審議していけば、市の方でも予算や仕組みを作り直すなどしていただけるのではないかなと思います。
A委員	今、青パト車のパトロール活動についてお話されておりましたけども、実際行っている立場からするとそんなに大したことはないですが、確かに実施するまでに許可が必要であったりと、見返なしで青色パトロールを行うのはハードルが高いのかもしれませんが。しかし、青色パトロール以外でも隔週夜間に町内の人たちが班構成して防犯活動をしていたり、あるいは子供たちの登下校時に自分の家の

	すぐ近いところで、高齢者の方でもできることとして、ただ立っているだけでも防犯になりますし、防犯活動と言っても犯罪を防ぐために様々な形での活動がありますので、人によってできることを啓蒙していくことが大事だと思います。またそれを1回や2回で終わりにせず、継続して行うことが大事で、一番いいのは紙を配っていく中で1対1で「あなたどうですか。協力してもらえませんか。」と声掛けをしていかないと、防犯活動に限らず市民活動、消防団活動など人手が不足し厳しくなっていくと思いますので、皆でここはひとつ声掛けをしていかないといけないと思います。
C 委員	日吉台では回覧の中に防犯に関するものが回っているのですが、ここでこんなことがあったのだから知ることが出来て驚いています。先程E委員のお話の中でもありましたが、架空請求や侵入盗が発生しているなんて私は知らなかったもので、こういう実態をもっともっと知ってもらうことが大切なのではないかなと思います。もしかしたら自分も被害にあうかもしれないですしね。難しい言葉でなくもっとわかりやすくひきつけるような形で、犯罪を防ぐ内容を啓蒙していってもらえればなと思います。
D 委員	防災防犯メールでも毎回夕方頃流れていますよね。それを見て私もまたこんなことが起きたのだと知っています。忍込みが発生しているから気を付けてねとか声掛けしていますが、昔は鍵をかけないでちょっと出かけても別に心配とかなかったですが、今は鍵を掛けないと危ないですし、電話にしてもずっと留守番電話にして、今は変な電話には出ないようにしています。そしたら、千葉県警から詐欺に気を付ける内容の電話を高齢者の世帯に掛けているみたいで、私の所にも2回くらい掛かってきました。
E 委員	紛らわしい電話とよくご指摘を受けるのですが、例えば警察官を騙った振り込め詐欺もあるわけです。それと勘違いされる方もいらっしゃるのですが、県警のコールセンターから外部の団体に委託で行ってもらっており、番号も06のナンバーで掛かってきます。紛ら

	わしいかとは思いますが、コールセンター事業ということで行っておりまして、特に振り込め詐欺の前兆電話が多発する地区に集中的に電話帳を見て掛けています。県警で犯人のアジトにガサ入れしたときに押収した顧客リストを使用して電話を掛けたりしてることも実際しているんです。しかし、リストを見ながら注意喚起の電話と言われても、電話をもらった方から警察に問い合わせがあり、やはり紛らわしいので止めてくれと言う声も実際各所から出ているそうです。県警で今改善を図っているところであります。
議長	先程回覧の話が出ましたが、交番便りが各地区で月に1回出ており、また県警便りというのも来ています。情報としてはあとは各地区の防犯活動を行っているところを出して、南七栄だとA委員が色んなことをされております。また、市の方からも情報は発信されてきており、今の現状を皆さんにお伝えしていくのが大切だと思います。自分たちの地域は自分たちで守ろうという気持ちで、小さいところから行って、防犯指導員も今は四支部ありますが、とりあえずはその仕組みをもう一回考え直してみる必要がありますよね。
B 委員	長い時間かけていかないとできないと思います。例えば洗心小学校が閉校となり、南小学校に併合されたわけですが、防犯指導員四支部ありますが、洗心小学校がなくなったからパトロールしないでいいと言われてたらしなくてははいけませんし、南小学校区を担当している支部の方が洗心小学校の方までパトロールしなければならないのかということのも無理があります。そういうふうに分けた場合に防犯指導員がその地区に何人在籍しているのかということを見なければなりません。実の口支部は20人いかにいらないので、そういった10数名の支部が、一年間活動するというのは、いくらローテーションでパトロールするとはいえ、大変だと思います。そういう事も考えて、今後見ていかなければならないかなと思います。 細かい地区で見ると、あっちに行きたいこっちに行きたいという話は連合会の中でもありますけどね。

D 委員	事務局にお聞きしますが，洗心小が南小に併合されることで，実の口支部の編成が変わることはありますか？
事務局	洗心地区としては，小学校が無くなっても洗心地区としてのコミュニティは引き続き残したいという要望が，昨年開催した地域フォーラムの中でありました。今では，組織も発足したと聞いておりますので，市としてはそういった意向を尊重すれば，洗心小学校区が洗心地区，地域と名称が変わることはあるのですが，同じコミュニティのエリアとして認知するというので今考えておりますので，そう考えれば，今までの防犯指導員や区長会などにしても変わらないのかなと理解しているところでございます。
B 委員	それに関連しまして，防犯指導員四つの支部は小学校区毎に分けられているのではなく，交番・駐在所管内に基づいて分けられております。今のところは実の口駐在所の管轄で変わりないと思いますので，すぐには変わらないと思います。
議長	ただいま様々な話が出ましたが，根本的には小学校が閉校となるということは地域の仕組み・バランスが崩れるわけです。逆に言えば，崩れたときにもう一度考え直して，管轄は成田警察署，行政区は市を中心として，考えていけばよいと思います。また，私は南小学校区防犯パトロール隊ということで，南小学校区をパトロールしているわけですが，防犯指導員では東立沢・立沢台・太木は小学校区は南小なのに，七栄支部という不思議なことになっているわけです。一応，南小学校区パトロール隊の代表と話し合い，洗心小地区は実の口支部の管轄だけれども，一緒に回ることにしました。
F 委員	明日まさに洗心小学校の閉校式を迎えるようになっております。私は青少年相談員の会長をやらしてもらっているわけなのですが，洗心には4名，南小には7名の青少年相談員がいるのですが，合併しますので11名の体制になるのですが，そのあとどうやって活動し

	ていくのか。実際今でも教育委員会からの指示はないですし、どういった活動をしていけばよいのかわからない。やはり市は、教育委員会とこの市民活動推進課の方と縦割り過ぎて横のつながりがないから情報が共有できていないように思います。ですので、我々が今苦しんでいる中、非常にいいお話が聞けたのですが、洗心地区のコミュニティエリアとしての認知ということで、私としても正直言って洗心小学校はそのまま残してあげたい、洗心地区は学区としてそのまま残してあげたいなという意見を伝えることができるかなと思いました。それと、先程防犯指導員の高齢化のことがありましたが、私も日吉台地区の防犯指導員を経験したことがありまして、そのあとその流れで青少年相談員というところに来てもう１５年近くやっているのですが、やはり高齢化が進むというのは、なんで防犯指導員に魅力がないか、その辺については市の方で少し考えていただかないと困るんですね。なんでやりたくないか。やりやすいように活動できるために、市がどういうところに持っていこうよと視点を示していただかないとなかなか若い人たちは活動しづらいと思います。
議長	ちょうど変わり目なので、これを機会に皆さんでもう一度考え直すというのも絶対にいいと思います。では、次の議題に移りたいと思います。 （２）今後の防犯活動や取り組みについて 事務局の説明を求めます。
事務局	資料２，３をもとに今後の防犯活動や取り組みについて説明。 （議長が意見を求める）
B 委員	先程事務局の説明の中でもありましたけども、犯罪の件数で見ると七栄は他の地域に比べて多いのがわかりますけども、七栄と言っても範囲は広いので、更に細かく絞っていただけるとピックアップしたデータが出て、防犯パトロールもしやすいのではないかなと思う

	のですが、いかがでしょうか。
A 委員	関連して、七栄は過去に千葉県内で一番犯罪認知件数が多かったワースト 1 の時がありました。地域が広い狭い関係なく字別で出しているのですが、守備範囲が広く、どうしても件数だけで見ると多くなってしまう形なんです。一番わかりやすいのは、県警のホームページを見るとマップに落ちているのがあるのです。ですので、件数だけで見るのではなく、マップに落としたものを回覧等で見てもらいたいと思います。
議長	他にご意見ございませんか。 特にないようですので、今回出た意見を事務局にて取りまとめたいただき、今後の防犯活動に繋げていただきたいと思います。それでは、次第 5 を事務局お願いします。
事務局	次第 5 その他 2 年任期最後の会議ということになりますので、順番に一言で結構ですので、何かご挨拶、ご意見いただければありがたいと思いますが、副会長よろしいでしょうか。
G 委員	はい。 (各委員挨拶)
事務局	「犯罪のないまちづくり推進協議会委員の推薦について」の説明。 翌平成 29 年度から平成 31 年までの委員となっていたただける方を、4 月 28 日（金）までにご報告いただきますようお願いいたします。 2 年間大変ありがとうございました。 -----閉会-----